



会長挨拶

「外国語活動の充実に向けて」

オホーツク管内国際理解教育研究協議会

会長 高柳 修 (北見市立留辺蘂小学校長)

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、それぞれの立場で活躍されていることと拝察しております。暑い日が続いておりますが、体調を整えられ頑張ってくださいと思います。

さて、5月に実施しました海外教育事情研修会では、富田指導主事の「小学校外国語活動の現状と今後の進め方」という講演の後、天津日本人学校から戻りました齋藤修先生とガーナに青年海外協力隊員として派遣されていた田川満男先生の帰国報告がありました。毎年、生々しい帰国報告は大変インパクトのあるものですが、今年度は田川先生のガーナ教育事情のお話が強く印象に残りました。校舎、教材・教具、教員などあらゆる教育環境が劣悪な状況にもかかわらず、子どもたちの学習に対する姿勢や目の輝きには、今の日本の子どもたちに対して何かしらの警鐘を鳴らしているものと受け取りました。

先日、初等教育資料を見ていると、直山先生の文章が目に残りました。表題は「外国語活動の充実に向けて」です。その中で直山先生は「見える支援」と「見えない支援」の両方が大切とされています。「見える支援」は①外国語活動導入の経緯、目標、内容等の理解、②外国語活動の体験 ③外国語への慣れを指摘しています。(詳細は略)その見える支援を支える「見えない支援」は①支援の体系化 ②指導計画や教材を作成し、それらを活用した活動の体験する場の設定 ③支援する側がフィルターになることを提示しました。つまり、体系化、場の設定、フィルターの意味するものは、計画したことを実際の研究授業などを通して一層の理解を図り、目標から外れているような場合は支援する側が指摘してあげることが大切であると言っていると思います。今後、私たちの研究会では、フラップを中心に支援する側の視点で外国語活動の充実に寄与できればいいなあと考えています。

今年度も9月に外国語活動に焦点をあてた公開研究会を小泉小学校の高橋先生が行ってください。実践を通して得たことを管内に還元することによって、支援する側の立場に立った本研究会としての役割を果たして行きたいと考えています。外国語活動プロジェクトチームと研究部の力を合わせて頑張っていきましょう。

平成22年度 オホーツク管内国際理解研究会 役員

会長	高柳 修 (留辺蘂小学校校長)	
副会長	吉田 寛 (訓子府小学校校長)	光成 英二 (端野小学校校長)
	石田 篤司 (開盛小学校校長)	
監事	国兼 秀也 (小泉小学校校長)	藤田 俊一 (白鳥小学校長)
	吉野 経夫 (常呂小学校長)	
事務局長	菅原 敏明 (北見南小学校教頭)	
事務局次長	佐藤 文昭 (西興部小学校教頭)	河原 賢 (滝上小学校教頭)
	櫻田 弘道 (若佐小学校教頭)	小野寺哲浩 (端野中学校教頭)
研究部長	相馬 一之 (美幌小学校教諭)	
組織部長	大石 剛 (紋別小学校教頭)	
情報部長	長崎 祐紀 (相内小学校教諭)	

よろしくお願いたします。

第22回 オホーツク管内国際理解教育研究大会

第22回オホーツク管内国際理解教育研究大会を下記の通り開催いたします。

日時： 平成22年9月16日 (木)
会場校： 北見市立小泉小学校
授業者： 高橋佳子先生 5年生学級

内容詳細についてはこの会報紙に同封いたしました別紙のご案内をご覧ください。

管内国際理解研究会の今後の動き

- 在外教育施設派遣教員選考 (文科省選考) 平成22年7月28日(水) 文科省
- オホーツク管内国際理解教育研究大会 平成22年9月16日 (木)
～ 会場 小泉小学校
- 北海道国際理解教育研究大会 函館大会 平成22年11月4日 (木) ～5日 (金)
- 平成22年度総会・送別会・激励会 平成23年2月26日(土)

海外教育事情研修会



去る5月8日(土)端野町公民館にて海外教育事情研修会が行われました。講演は富田直樹指導主事をお迎えし、小学校外国語活動の現状と今後の進め方についてお話いただきました。海外から戻られた先生方の発表では、中国は天津から戻られた齋藤修先生とJICAでガーナに派遣となっていた田川満男先生にお話いただきました。

齋藤先生には中国での生活の様子や、ご専門の数学について、「小学校算数と中学校数学の間の溝の把握ができたことや、小人数により、新しい数学の教材開発ができた」ことなどを成果としてお話いただきました。体が次第に中国に馴染んでいく話など、とても楽しく聞くことができました。(腸

内細菌、花粉症、鼻毛の話は楽しかったです)

田川先生にはガーナの話をしていただきました。現地の子どもたちに教えている映像を見ながら、さまざまな異国の文化の話を興味深く聞かせていただきました。教えている田川先生は、たくましく見えました(ワイルド?)。悪いことをすると、罰を受けるんだそうです。驚きですね。ともかく巡回した先の子どもたちは働き者で、とても元気に裸足でかけていました。そんな子どもたちにも会ってみたいですね。

発表者 齋藤 修 教諭 (中国 天津日本人学校)

田川 満男 教諭 (ガーナ JICA青年海外協力隊員)



ありがとうございました。

編集後記

やはり今年も7月になってしまいましたか。すいません、こんな性格で…。

みなさん、毎日のお仕事でお疲れではないですか?いよいよ夏休みです。楽しい夏を過ごしつつ、8月からの授業のネタをたくさん集めてみましょう。

海外旅行もいいかもしれませんね。異文化理解にもストレス発散にもなりますし…。そしてリフレッシュして、8月からの国際理解教育をがんばりましょう。話は変わりますが、10月28(木)には網走研修センターでの「国際理解教育」の講座もあります。美山小の天野先生をメイン講師に行います。こちらもぜひご参加を。私もサブでほんの少しだけお手伝いを…(^-^)

文責; 情報部部长 相内小 長崎 祐紀

(おねがい) 会費の納入はお済みでしょうか? 3,000円です。

お問い合わせは・・・ 端野中学校小野寺哲浩教頭先生 (TEL 0157-56-2023) へ。